

アナウンス担当の女性団員



優秀賞 王禅寺班



開会式



優良賞 黒川班



審査員も走る！



麻生地区 ポンプ操法大会！

私たちの出番直前、天候は激しい土砂降りに。しかし、放水訓練で濡れ慣れていた私たちにとっては、むしろ最高の舞台でした。如何なる状況下でも共に走り抜けてくれた仲間存在が、何よりの誇りです。これからはこの絆と技術を次のステップへ活かし、地域の皆さんに恩返しができるよう、より一層精進していきます。本当にありがとうございます。

優秀賞を受賞して： 東柿生分団王禅寺班

6月7日、麻生地区ポンプ操法大会が開催され、麻生消防団12班と女性団員の全13チームが日頃の訓練の成果を競い合いました。大会中盤からは雨が降り出し、コンディションが変化する中での競技となりましたが、どのチームも最後まで落ち着いた操法を披露し、会場は緊張感と熱気に包まれました。競技の結果、優秀賞は東柿生分団王禅寺班、優良賞は柿生分団黒川班、努力賞は東柿生分団下麻生班が受賞しました。残念ながら私自身の班は、ポンプのエンジントラブルにより放水ができず、悔しさの残る大会となりましたが、改めて日頃の訓練や機材点検の重要性を実感する貴重な経験にもなりました。この経験を今後の活動に生かし、地域の皆さまの安心・安全を守るため、団員一同さらなる技術の向上に努めてまいります。

第41号
麻生消防団
発行日
令和8年9月



最優秀指揮者

柿生分団 黒川班 立川大翔

強い団結力の黒川班。親愛なる先輩方と肩を並べられた。垣根を越えて、競い協力し合う分団の仲間達。良きライバルである区内他分団。怪我離脱した友の選手宣誓に強く後押しされて獲れた賞。皆に感謝。



最優秀1番員

東柿生分団 王禅寺班 松本明裕

熱心にご指導くださった分団の皆様期待您的ため、仲間の想いを乗せたホースを背負い、ただ前だけを見て最速を求めました。最優秀賞1番員という最高の形で恩返しできたことに、心から感謝申し上げます。



最優秀2番員

麻生東分団 高石班 中谷公治

最優秀二番員を頂きありがとうございます。また、ひとえに諸先輩方のご指導、班、分団の皆様のご協力のおかげと思います。今後も精進して参ります。



最優秀3番員

柿生分団 昭和班 西晴樹

この度は最優秀三番員賞をいただき、誠にありがとうございます。はじめての三番員で送水圧力の調整に苦戦しましたが、大会前日によく形になりました。本番も緊張しましたが、無事に送水でき、受賞できたことを大変うれしく思います。



署長表彰 受賞コメント

※ 6月28日に予定されていた市の操法大会は台風の接近に伴い、中止となりました。

水防訓練

6月14日に旧白山中学校敷地内にて、麻生消防署員と合同で水防訓練を行いました。土嚢の作り方、土嚢の積み方、また、その応用について、麻生区役所道路公園センターの方にご指導いただき各自土嚢を作り、積んで水害に有効な処置を学びました。

土嚢作成、積み方のポイント！

【土嚢作成時】

袋の中に内容物（砂や土）を半分から2/3程度にして入れすぎない。

【袋の口を縛るとき】

袋をしっかりねじり、ひもを右図のように縛る。あまり上部で結ぶと解けてしまうので注意する。

【土嚢を積む際】

縛り口を下流に向け土嚢上部を折り返して下に挟み下流側から隙間なく積んでいく。3段目以上積むときは土嚢を安定させるため杭を打ち込む。

麻生区は比較的水害に強い街と思われませんが、近年のゲリラ豪雨や猛烈な大型台風等も増え水害のリスクも高まっています。今までは考えられなかった被害が出ることもあるかもしれません。今回の訓練に参加した団員はもちろんのこと、参加できなかった団員の方もしっかり土嚢を作れるようにしておきましょう。

※ また、川崎市HPの洪水ハザードマップを確認したり、ご自宅や周囲の身近な場所のリスクを把握しておきましょう。



岡上班器具置場のシャッターペイントが完成

このたび、岡上班器具置場のシャッターに、消防団員募集をPRするシャッターペイントが施されました。川崎市消防局のマスコットキャラクター太助君が消防団バージョンで描かれ、地域の皆さまに消防団を身近に感じていただけるデザインとなっています。

背景には、白いクレマチスが描かれています。クレマチスの花言葉には「精神の美」「旅人の喜び」「策略」などがあり、「策略」は一見否定的に思われがちですが、本来の意味は「状況を見極め、工夫して前に進むこと」という意味があるそうです。地域を支え続ける消防団員の姿にも重なります。

このシャッターペイントが、地域の安全・安心を見守る消防団のシンボルとして親しまれるとともに、新たな仲間との出会いにつながることを期待しています。



ポンプ操法大会 督励

送られました。団員たちはその言葉を胸に、本番に向けて気持ちを新たに、さらなる技術向上に努める決意を固めました。



麻生地区ポンプ操法大会を目前に控え、麻生水処理センター及び早野聖地公園の2会場で督励を実施しました。当日は各分団が日頃の訓練成果を披露し、規律ある動作と息の合ったチームワークが見られました。督励では、碓井団長から「これまで積み重ねてきた訓練の成果を十分に発揮し、安全第一で大会に臨んでほしい」と激励の言葉が



に異常のないことを確認しました。水不足のなか、貯水槽の水を循環させて検査を行い、外に水を漏らすことなく少量の水で全班的検査を終了しました。

4月26日麻生消防署に於いて、各班の小型動力ポンプの真空・揚水・放水圧力等の検査、積載車の備品の数量チェックを実施しました。ポンプの性能の他、シールやコックの状態も併せてチェックし、共に



ポンプ性能検査を実施しました